



Arlo Pro 2

HDセキュリティカメラシステム

ユーザーマニュアル



サポート

製品のアップデートおよびウェブサポートについては、<http://www.arlo.com/jp/support/>を参照してください。

商標

© Arlo Technologies, Inc. Arlo、Arloロゴ、Every Angle CoveredはArlo Technologies, Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLCの商標です。Amazonおよびすべての関連ロゴはAmazon, Inc.またはその関連会社の商標です。その他の商標は参照目的のために記載されています。

適合性

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、www.arlo.com/about/regulatory/を参照してください。

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

目次

1. はじめに	6
Arlo Pro 2のご紹介	6
カメラの電源	6
バッテリーの取り付け	7
カメラのバッテリーを充電する	7
ベースステーションをインターネットに接続する	8
Arloアプリを入手する	8
Arloアプリを使用してインストールおよびセットアップする	9
カメラを設置する	9
カメラに適した場所を探す	10
Arlo Pro 2カメラの視野を最適にする	10
カメラの配置モードを使用する	11
動作検知をテストする	12
カメラに動作検知を設定する	12
WiFiパフォーマンスを最適化するためのヒント	12
ベースステーションLEDガイド	13
Arlo Pro 2カメラのLEDガイド	14
ファームウェアのアップデート	14
2. コンテンツを見る	15
[デバイス] ページを表示する	15
カメラフィードを表示する	16
ビデオをパンまたはズームする	16
ビデオのプレ録画	16
ライブビデオからクリップを録画する	17
ライブビデオからスナップショットを撮影する	17
音声通信	17
カメラフィードイメージをカスタマイズする	17
クラウド録画	18
録画とスナップショットを見る	19
ライブラリの録画ビデオを共有および管理する	20

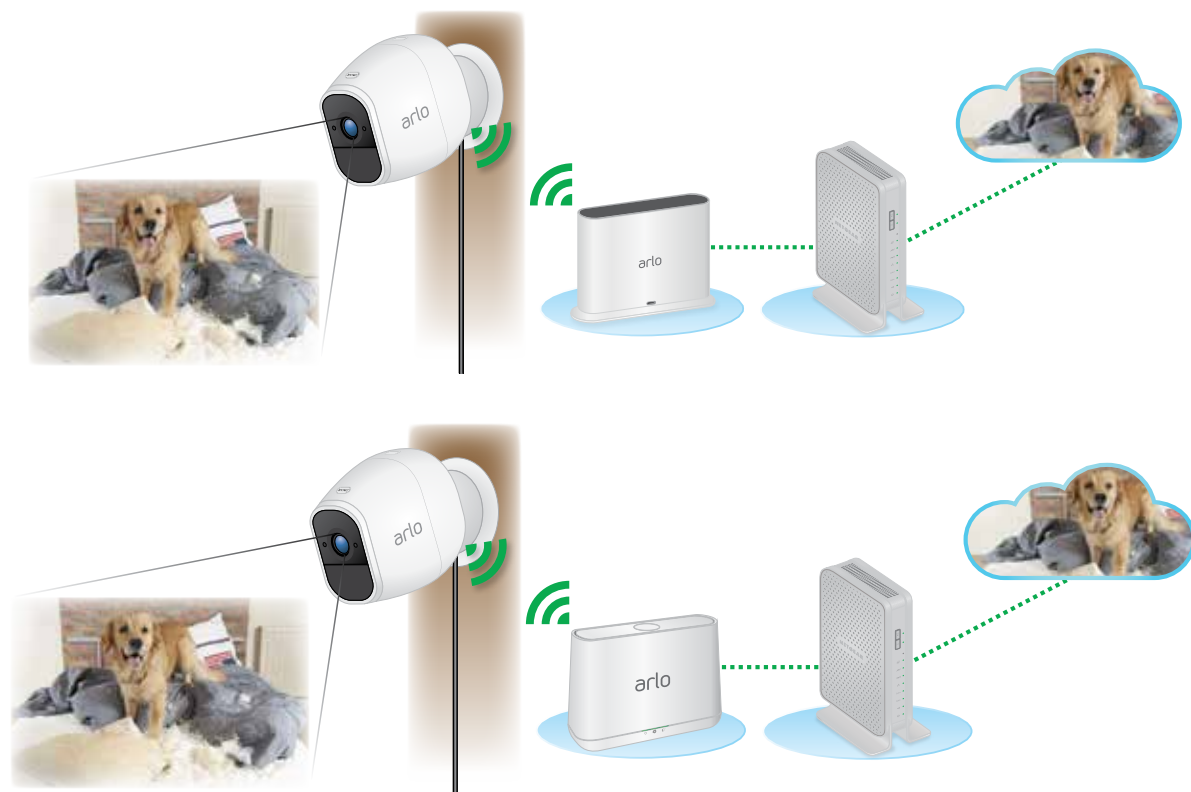
3. モード、ルール、スマート警告	22
モード	22
モードを選択する	22
ルール	23
動作検知の感度を変更する	23
動作が停止したら録画を自動的に停止する	24
音声感度を変更する	24
警報音を鳴らすルールの追加	25
アラートを管理する	25
カメラルールをスケジュールする	26
ジオフェンスをセットアップする	27
複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する	28
カスタムモード	29
4. 設定を変更する	31
Arloアプリの指紋IDログインのオン/オフを切り替える	31
パスワードとユーザー名を変更する	31
友人にアクセス権を付与する	32
タイムゾーンを変更する	34
カメラ設定	34
カメラのオーディオ設定を変更する	36
ベースステーションの設定	37
デバイス情報を確認する	39
アカウントからデバイスを削除する	39
5. USBストレージデバイス	40
USBストレージデバイスを接続する	40
USBストレージデバイスのステータスを表示する	40
USBストレージデバイスを安全に取り外す	41
USBストレージデバイスにあるビデオクリップを見る	42
USBストレージデバイスの上書き設定を変更する	42
USBストレージデバイスのフォーマット	43
USBストレージデバイスでの録画をオンにする	44
USBストレージデバイスでの録画を停止する	44

6. 24時間連続録画	45
タイムラインを表示する	45
タイムライン上を移動する.....	45
タイムラインカレンダーを表示する	46
7. Arlo Connect	47
IFTTTでArloを使用する	47
AlexaおよびArlo Alexa SkillでArloを使用する	47
8. FAQとトラブルシューティング	48
電池に関するFAQ	48
ストリーミングの帯域幅を管理する	49
夜間にカメラで発生するグレア	50
アクティビティゾーンとCVRが機能しない	50
ブラウザでビデオストリームを見ることができない	51
プッシュ通知を受け取れない	52
Arloベースステーションがオンラインであることを確認する	54
ベースステーションがオフラインになっている	54
信号強度	56
Arloベースステーションを工場出荷時の設定にリセットする	57
9. 充電式バッテリーの安全性	58
Arlo Pro充電式バッテリーを安全にお使いいただくためのルール	58
Arlo Pro充電用ステーションを安全にお使いいただくためのルール.....	59

1. はじめに

Arlo Pro 2のご紹介

バッテリーで給電、またはAC電源コンセントに差し込んだ状態でカメラを使用できます。モバイルデバイスやPCからカメラにアクセスしてさまざまな設定ができます。Arlo Pro 2カメラは、動作を検知するとクラウドに録画を保存します。



カメラの電源

カメラには、個別の要件に応じたカスタムセキュリティシステムを作成できるアクセサリが付属しています。

- ご使用前にバッテリーの充電をおすすめします。
- 屋内でAC電源を使用する場合は、AC電源アダプターを屋内コンセントに接続します。
- 屋外にカメラを設置する場合は、Arlo Pro 2屋外用電源アダプター (別売) を使用してください。

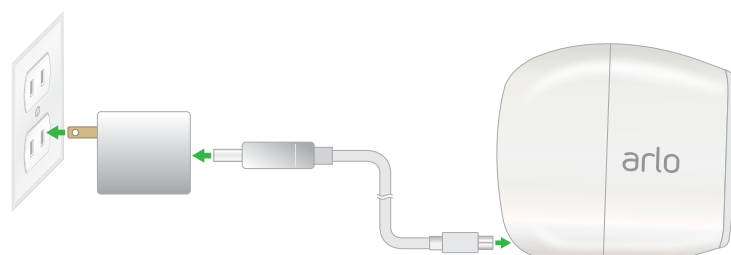
バッテリーの取り付け



1. ラッチを押してバッテリーホルダーのロックを解除します。
2. ラッチを押したまま図のようにバッテリーホルダーをゆっくりと開けます。
3. バッテリーの向きを合わせます。
4. バッテリーを装填します。
5. ラッチから「カチッ」と音が鳴るまで電池ホルダーを押して閉めます。

詳細については、58ページの「Arlo Pro充電式バッテリーを安全にお使いいただくためのルール」を参照してください。

カメラのバッテリーを充電する



1. カメラが屋外にある場合は、屋内でバッテリーを充電してください。
2. USBケーブル (カメラ用) をUSB電源アダプター (カメラ用) に接続します。
3. USBケーブルをカメラに接続します。
4. 電源アダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。

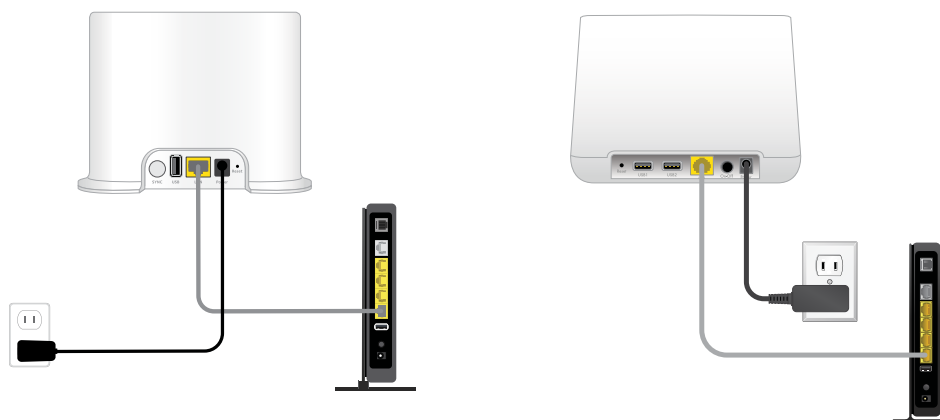
完全に充電されると、カメラのLEDが青色に点灯します。

注意: 予備のArlo Pro 2充電式バッテリーを購入し、Arlo充電ステーション (別売) で充電できます。

ベースステーションをインターネットに接続する

ベースステーションはホームネットワークに接続され、それによってカメラのストリームをどこからでも見ることができます。

1. ベースステーションを既存のルーターのLANポートにLANケーブルで接続します。
2. ベースステーションに電源アダプターを接続します。



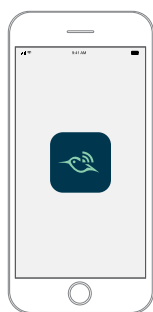
3. **On/Off**ボタンを押して、電源を入れます。

ベースステーションの前面にLEDが1つある場合、LEDが約2分間緑色で点灯します。

ベースステーションの前面にLEDが3つある場合、電源LEDとインターネットLEDが約2分間緑色で点灯します。

Arloアプリを入手する

無料のArloアプリをダウンロードして、ベースステーションとカメラをインストールします。アプリのガイドに沿って、セットアップします。



Arloアプリを使用してインストールおよびセットアップする

セットアップをするためには、Arloアプリを使用しArloベースステーションとArlo Pro2 カメラをインストールする必要があります。Arloアプリのガイドに従って次の手順でセットアップします。



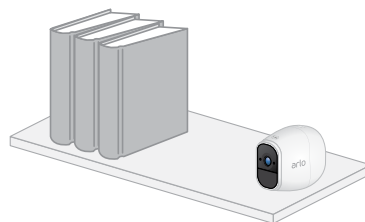
1. Arloアカウントを作成します。
すべてのArloデバイスを管理するには同じアカウントを使用します。
2. Arloベースステーションをインターネットに接続して、アカウントに追加します。
3. 各Arlo Pro 2カメラを追加し、Arloベースステーションと同期します。

Arloアカウントを設定すると、スマートフォンやタブレットでArloアプリを使用して、またはWebブラウザを使用してPCからArloアカウントにアクセスできます。PCを使用している場合は、ブラウザのアドレス欄に「<https://my.arlo.com/#/login>」と入力します。

インストール後は、Arloアプリを使用して、カメラフィードの表示、アラートと通知のカスタマイズ、カメラのスケジュールの作成などを実行できます。

カメラを設置する

カメラは棚の上などの水平な場所や、壁掛け用マウントキットを使用して壁面に設置することができます。障害物が少なく見通しの良い、ベースステーションの電波が届く場所を選んでください。



注意：障害物の有無や電波干渉などによって、電波の届く範囲は異なります。

➤ 壁掛け用マウントキットを使用します。

1. 取り付け用ネジを壁に固定します。
石膏ボードなど柔らかい壁に設置する場合は、付属の壁掛け用ネジとアンカーを使用してください。
2. マウントキットをネジに掛けます。
3. カメラをマウントキットの上に置きます。

カメラのマグネットで固定できます。



カメラに適した場所を探す

Arlo Pro 2カメラを設置する際は、以下のヒントを参考にしてください。

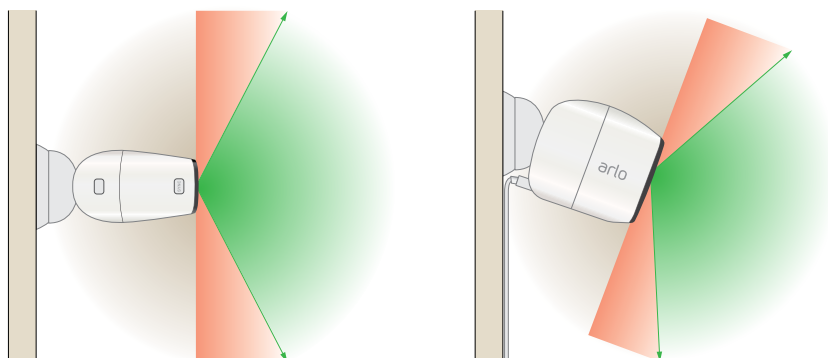
- 監視したい場所がカメラの視野に入る場所にカメラを配置してください。
- カメラは、センサーが適切に動作するように床面または地面から2 m以上の高さにやや下向きにして設置してください。



- 検知対象がカメラの視野を横切るように配置します。Arloの動作センサーは、カメラから1.5~6 mの左右の動きに最も影響を受けます。

Arlo Pro 2カメラの視野を最適にする

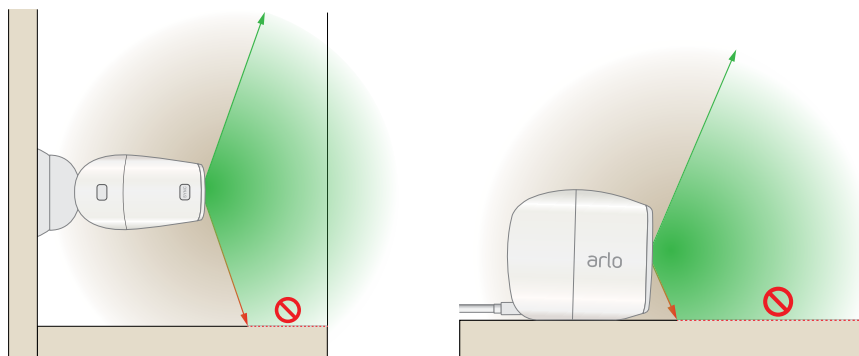
視野は、カメラが動作を検知できる領域です。Arlo Pro 2カメラの視野角は130°です。次の図では、Arlo Pro 2の水平方向と垂直方向の両方の視野を、緑色の領域で示しています。



はじめに

Arlo Pro 2カメラを設置する際は、次のヒントを参考にしてください。

- **アクティブな場所をカメラの視野に入れましょう。** 監視したい範囲がカメラの視野に収まるようにカメラを設置してください。
- **カメラの視野を遮らないでください。** カメラのすぐ近くに壁、テーブル、そのほかの物体がないことを確認します。カメラの側面または前面の6.4 cm以内に物体がある場合、その物体が赤外線 (IR) の光をカメラレンズに反射する可能性があります。この状況では、特に夜間の場合は、映像内にグレアまたはかすみが生じることがあります。夜間の映像にグレアとかすみを引き起こす可能性がある不適切な配置例を次の図に示します。



カメラの配置モードを使用する

配置モードを使用できるのは、カメラがストリーミングや動作の録画、動作検知を行っていないときだけです。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定] > [マイ デバイス] をタップします。
3. カメラを選択します。
4. [デバイスユーティリティ] > [カメラの設置場所] をタップします。

カメラがビデオのストリーミングを開始します。

注意: カメラ配置モードでは、ビデオがバッファリングされることなく、ただちにストリーミングされるので、スマートフォンで確認しながら、ほぼリアルタイムでカメラの位置を調整できます。カメラを配置しているときは、ビデオの画質が低下する可能性があります。

動作検知をテストする

動作検知テストを使用して、各カメラに適した動作検知の感度設定を見つけることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス]をタップします。
3. カメラを選択します。
4. [デバイスユーティリティ]>[動作検知テスト]をタップします。
5. カメラの前面に移動します。

このテスト中は、動作が検知されるとカメラのLEDがオレンジ色で点滅します。

6. スライダーを動かして、必要に応じて動作検知感度のレベルを調整します。

カメラに動作検知を設定する

モードを選択して、カメラが動作を検知するときとその動きを記録して警告を発するために使用するルールを制御します。Arloアプリには、次の4つのモードがあります：警戒、待機、スケジュール、ジオフェンス。各モードをカスタマイズしたり、カスタムモードを作成したりできます。この実行方法については、22ページの「[3. モード、ルール、スマート警告](#)」を参照してください。

カメラビュー内で動作を検知したい動作アクティビティゾーンを特定できます。動作を検知するアクティビティゾーンを選択することもできます。34ページの「[動作検知アクティビティゾーンを追加する](#)」を参照してください。

WiFiパフォーマンスを最適化するためのヒント

Arlo Pro 2カメラは、ベースステーションに強いWiFi信号を送信できる場所に設置してください。WiFiデバイス間の距離は、WiFi信号に影響を与える可能性があります。

- **最大推奨距離。** ベースステーションから最大90 m以内にカメラを設置してください。最大距離はその間に存在する壁や天井、または金属製のドアなどの障害物によって短くなります。
- **最小推奨距離。** WiFiの干渉を低減するため、Arlo Pro 2カメラをベースステーションから3 m離れた場所に設置します。複数のArloカメラ間には、2 m以上離れるように設置してください。WiFiルーターから1.8 m以上離れた場所にベースステーションを配置します。

はじめに







次の素材は、ベースステーションやカメラなどのWiFiデバイスの上に配置すると、WiFi信号の強度を低下させる場合があります。

- 厚い壁や天井
- レンガ
- コンクリート
- 岩
- セラミック
- ガラス、鏡
- 金属
- 大量の水(水槽や貯水タンクなど)

ベースステーションLEDガイド

ベースステーションの前面パネルには、1つまたは3つのLEDがあります。

LEDが1つのベースステーションモデル

- | | | |
|--|--|--|
|  青点灯
ベースステーションは、インターネットとArloカメラに接続されています。 |  ゆっくり青点滅
ベースステーションはArloカメラとの同期またはペアリングの準備ができています。 |  すばやく青点滅
ベースステーションはカメラと同期しています。 |
|  オレンジ点灯
ベースステーションは起動中です。 |  ゆっくりオレンジ点滅
ベースステーションがカメラを見つけられませんでした。カメラが範囲外であるか、接続エラーが発生しました。 |  青とオレンジが交互に点灯
ファームウェアのアップデートまたはリセットが進行中です。 |

LEDが3つのベースステーションモデル

- | | | |
|--|---|---|
|  電源LED
 緑点灯
ベースステーションの電源が入っています。 |  インターネットLED
 緑点灯
ベースステーションはインターネットに接続しています。 |  カメラLED
 緑点灯
カメラはベースステーションに接続しています。 |
|  緑点滅
ファームウェアのアップデート中です。ベースステーションやカメラの電源を切らないでください。 |  緑点滅
ベースステーションはインターネット経由で通信中です。 |  緑点滅
ベースステーションはカメラと同期を試みています。 |
|  オレンジ点灯
ベースステーションは起動中です。 |  オレンジ点灯
ベースステーションはルーターに接続されていますが、インターネットに接続されていません。 |  オレンジ点滅
カメラとベースステーションの距離が離れているか、信号強度が弱くなっています。 |

Arlo Pro 2カメラのLEDガイド

カメラの電源がオンになると、カメラのLEDが点灯します。LEDの色および点滅は、電池の充電状態によって変わり、カメラの同期、カメラファームウェアのアップデートなど、アクティビティのステータスを示します。



●	青点灯	カメラは電源アダプターに接続されており、充電が完了しています。
☀	速く3秒間青点滅	カメラは電源アダプターに接続されており、充電中です。
☀	速く10秒間青点滅	カメラとベースステーションは同期を試みています。
●	オレンジ点灯	カメラは起動中です。
☀	1分間に1回オレンジ点滅	電池残量が少なくなっています (15%以下)。
☀	速く10秒間オレンジ点滅	カメラはベースステーションとの同期に失敗しました。
☀	青とオレンジ点滅	ファームウェアのアップデート中です。カメラの電源を切らないでください。

ファームウェアのアップデート

初期セットアップでArloアカウントにベースステーションを追加すると、Arlo Pro 2システムはファームウェアのアップデートを確認します。最初のカメラを同期した後、ファームウェアアップデートが使用可能な場合は、[デバイス] ページにファームウェアアップデートのプロンプトが表示されます。ライブストリームは、アップデートが完了するまで使用できません。

ベースステーションのファームウェアがアップデートされると、ベースステーションは再起動してインターネットに接続します。

カメラファームウェアのアップデート中は、カメラのLEDが青色とオレンジ色に交互に点滅します。その後、LEDが消灯し、1~2分でカメラのファームウェアがアップデートされます。

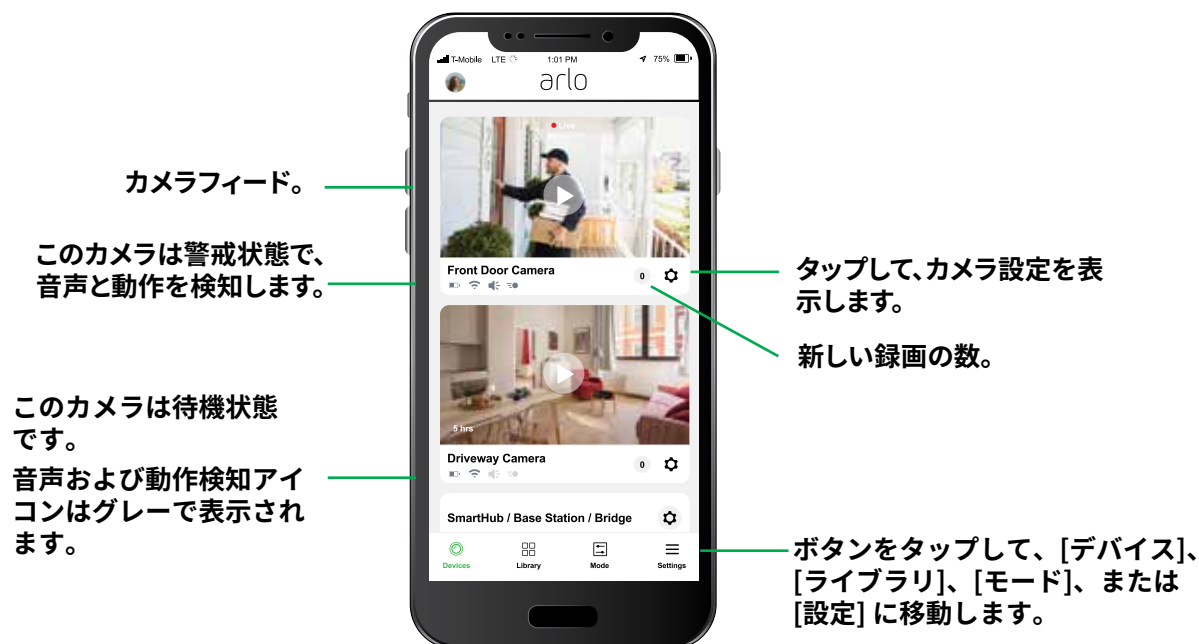
警告：ファームウェアのアップデート中は、カメラのバッテリーのフタを開けないでください。

カメラのファームウェアアップデートが完了すると、カメラはベースステーションと同期し、カメラLEDは青色で10秒間速く点滅します。

2. コンテンツを見る

カメラで録画されたビデオはライブラリに保存されます。録画したものやスナップショットを見たり、お気に入りにしたり、フィルターを使って検索したりできます。Arloアプリを起動すると、カメラフィードに [デバイス] ページが表示されます。

[デバイス] ページを表示する




カメラアイコン	各カメラフィードの下に表示	カメラフィードアイコン	カメラフィードをタップして、次のアイコンを表示
	バッテリー充電		再生/停止
	ベースステーションからのWiFi信号		消音する
	音声検知がオン		音声通信
	動作検知がオン		ビデオを手動で録画する
	メニューを開き、カメラ設定を表示または変更する		スナップショットを撮影
	カメラ設定を表示または変更する		USBストレージデバイス

カメラフィードを表示する

カメラフィードはいつでも表示できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードをタップします。

カメラフィードが更新され、カメラフィードアイコンが表示されます。

3. ライブフィードの視聴を停止するには、[停止]  をタップします。

ビデオをパンまたはズームする

ライブビデオまたは録画ビデオをパンまたはズームすると、高解像度で映像の特定部分を確認できます。スマートフォンの写真で見るときのように、ピンチとドラッグで映像を操作してください。

1. Arloアプリを起動します。
2. [ライブラリ] をタップします
3. Arloライブラリから任意のライブビデオまたは録画したビデオをタップします。
4. モバイルデバイスを使用してパンまたはズームします。
 - ビデオをズームインまたはズームアウトするには、ピンチジェスチャーを使用します。
 - ズームインしたフレームを移動するには、タッチしてドラッグします。

注意: PCを使用してパン/ズームするには、次の手順に従います。

- ズームインまたはズームアウトするには、**ズーム**アイコンをクリックします。
- フレーム内で移動するには、マウスボタンを使用します。



ビデオのプレ録画

電源に接続すると、Arlo Ultraカメラの録画が継続されますが、動きが検知されない場合、3秒後にビデオが破棄されます。これにより、動作を検知する前に、録画が開始されるため、動作の一部始終を録画できます。


➤ **ビデオをプレ録画できるようにカメラを設定します。**

1. Arlo Pro 2カメラをUSB電源アダプターに接続します。
2. カメラが警戒などの動作検知モードになっていることを確認します。
3. CVRプランに加入します。


ライブビデオからクリップを録画する

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードイメージをタップします。
3. **[録画]**  をタップして録画を開始します。
このアイコンが赤色になり、ビデオ録画を開始します。
4. 録画を停止するには、**[録画]**  をもう一度タップします。

ライブビデオからスナップショットを撮影する

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードイメージをタップします。
3. **[スナップショット]**  をタップします。
スナップショットはライブラリに保存されます。

音声通信

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードイメージをタップします。
3. **[音声通信]**  をタップします。
4. 初めて [音声通信] を使用するとき、Arloが電話機のマイクを使用できるようにします。
マイクボタンが表示されます。
5. マイクボタンを長押しして話します。

カメラフィードイメージをカスタマイズする

複数のカメラを使用する場合は、[デバイス] ページにカメラフィードが表示される順序を変更できます。カメラフィードイメージをズーム、反転、または回転することもできます。

カメラの順序を変更する

1. Arloアプリを起動します。

コンテンツを見る

2. **[設定]** をタップします。
3. **[デバイスの順番]** をタップします。
4. スマートフォンまたはタブレットを使用している場合は、ページ上部の **[編集]** をタップします。

リストアイコンが表示されます。
5. リストアイコンをタップしたまま、各デバイスをリスト内の正しい位置にドラッグします。
6. **[保存]** をタップします。

カメライメージをズームする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. 指でズームインします。

カメラフィールドを180°回転させる

ビデオフィールドを回転させて反転させることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. **[画像を回転]** をタップします。

カメラフィールドイメージが反転します。

クラウド録画

カメラは、動作または音声の検知時に録画を開始します。これらのビデオはクラウドに送信され、ライブラリに安全に保存されます。クラウド録画は、無料および有料のプランで利用できます。

注意: 録画はユーザー名とパスワードを使用して暗号化され、他のユーザーは録画にアクセスできません。

コンテンツを見る

録画には、モバイルデバイスまたはWindows PCやMac PCからアクセスできます。録画をクラウドからダウンロードしてモバイルデバイスまたはPCに保存できます。

録画とスナップショットを見る

Arlo Pro 2カメラの録画とスナップショットはライブラリに保存されます。フィルターとカレンダーを使用して特定の録画を検索して見ることができます。

ライブラリを使用する

ライブラリを使用して日付ごとに録画を検索して見ることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします
3. 月名の両側に表示されている矢印を使用して、表示する月を選択できます。

緑色の丸は、選択した日を示します。緑色の点は、ビデオクリップが録画された日を示します。

4. 強調表示された日付をタップします。

その日の録画がカレンダーの下に表示されます。

フィルターを使用する

フィルターを使用して、選択した条件により録画を検索して見ることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします
3. ページ左上の **[フィルター]** をタップします。
4. 使用するフィルタリング条件をタップします。
5. **[完了]** をタップします。

フィルターを無効にする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします
3. ページ左上の **[フィルター]** をタップします。
4. **[リセット]** をタップします。
5. **[完了]** をタップします。

ライブラリの録画ビデオを共有および管理する

録画ビデオをダウンロードする

1. Arloアプリを起動します。
2. [ライブラリ] をタップします。
3. 録画をタップします。
4. [ダウンロード] をタップします。
5. 確定するには、[OK] をタップします。

録画をお気に入りにする

1. Arloアプリを起動します。
2. [ライブラリ] をタップします。
3. 録画をタップします。
4. [お気に入り] をタップします。

録画を共有する

1. Arloアプリを起動します。
2. [ライブラリ] をタップします。
3. 録画をタップします。
4. [共有] をタップします。
5. ファイルを共有します。

研究活動のために録画を提供する

Arlo製品の研究開発に役立つように、Arloにビデオファイルまたはスナップショットファイルを提供することができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [ライブラリ] をタップします。
3. 録画をタップします。
4. [寄付] をタップします。
5. 確定するには、[OK] をタップします。

録画を削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. [ライブラリ] をタップします。
3. 録画をタップします。
4. [削除] をタップします。
5. 確定するには、[OK] をタップします。

3. モード、ルール、スマート警告

モードとルールでArloシステムを様々な状況に合わせて動作させることができます。たとえば、あるカメラが動作検知を行った場合に、ビデオを30秒録画して、アラートメールを送信するように設定できます。

モード

モードは、時間によってArloカメラの応答を変えることができます。例えば、リビングルームにいる間は、リビングルームで発生したイベントに関するアラートを受け取りたくないでしょう。また、外出中にはまた別の動作に切り替える必要があるかもしれません。Arloのモードは、これらのケースで適切にカメラをコントロールすることが可能です。

独自のモードを作成できますが、Arlo Pro 2には次のモードがあらかじめ設定されています。



警戒: このカメラでは検出がオンです。



待機: このカメラでは検出がオフです。



スケジュール: スケジュールに基づいて検出を管理します。



ジオフェンス: モバイルデバイスの位置情報に基づくジオフェンスを使用すると、特定の場所に到着した場合、または特定の場所から離れていく場合に、モードを警戒または待機に切り替えたり、スケジュールモードを再開したりできます。

[警戒] および [スケジュール] モードをカスタマイズしたり、新しいモードを追加したりできます。一部の動作センサーとカメラがアクティブで他の動作センサーとカメラはアクティブでないモードを作成することもできます。例えば、睡眠中は、屋外のカメラをアクティブにし、屋内のカメラを非アクティブにできます。

注意: 同じカメラにさまざまなモードを作成できますが、そのカメラで一度に使用できるモードは1つだけです。

モードを選択する

モードを選択したり、スケジュールに従ってアクティブにするモードを設定したりできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。

3. Arloデバイスをタップします。


[モード] ページが表示されます。

4. オンにするモードをタップします。

選択したモードはすぐに有効になり、変更するまでアクティブのままになります。

[デバイス] ページを表示したとき、カメラフィールドの上部に表示されるアイコンは、現在選択しているモードによって決まります。

 **[動作]**: 動作検知がオンです。

 **[音声]**: 音声検知がオンです。

ルール


各モードでは、1つ以上のルールを使用してArloシステムを制御します。同じベースステーションに接続されたArlo Pro 2カメラごとに、1つのルールを追加できます。これにより、カメラごとに異なるトリガーとアクションを設定できます。例えば、玄関ドアで動きが検知されたときに通知されるように設定し、裏庭にいる犬の動きを検知しても通知されないように設定できます。



各ルールに対して、次のオプションを設定できます。

- **トリガーとなるデバイス**: トリガーとなるデバイスは、イベントを検知するカメラを指します。動作や音声の感度を調整し、不要なアラートを最小限に抑えることができます。
- **動作させるデバイス**: 動作させるデバイスは、トリガーとなるデバイスの動作検知または音声検知に応答します。例えば、裏庭のカメラで動作を検知し、ドア横に設置したカメラで動画録画を開始することができます。動作や音声を検知されたときに、各Arlo Pro 2カメラが実行するアクションを決定します。
- **アラート**: イベントが検知されたら、Arloはメールアラートやプッシュ通知を送信できます。メールは、友人や家族、その他アラートが必要な人に送信できます。

動作検知の感度を変更する



ルールを編集して、Arlo Ultraカメラの動作検知の感度レベルを変更できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。



5. ルールの横にある **[編集]**  をタップします。
6. [次の場合] で、**[動作の検知]** の横にある **[編集]**  をタップします。
7. スライダーを動かして、このカメラの動作検知感度レベルを調整します。
モバイルデバイスでArloアプリを使用している場合、設定は自動的に保存されます。
8. PCのブラウザを使用している場合は、**[保存]** をクリックしてください。

注意: カメラビュー内で動作を検知したい動作アクティビティゾーンを追加できません。動作を検知するアクティビティゾーンを選択することもできます。34ページの「**動作検知アクティビティゾーンを追加する**」を参照してください。

動作が停止したら録画を自動的に停止する



1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。
5. [次のことをします] の下で、**[ビデオの録画]** の横にある **[編集]**  をタップします。
6. **[動作イベントが終了するまで録画 (最大300秒)]** を選択します。

音声感度を変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。
5. [次の場合] で、**[音声の検知]** の横にある **[編集]**  をタップします。
6. 目的の音声検出レベルまでスライダーを動かします。
モバイルデバイスでArloアプリを使用している場合、設定は自動的に保存されます。
7. PCのブラウザを使用している場合は、**[保存]** をクリックしてください。

警報音を鳴らすルールの追加

Arlo Proベースステーションに接続されたカメラのみが警報音を鳴らすことができます。


1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. モードの横にある  をタップします。
5. [ルール] でカメラを選択します。
6. [警報を鳴らす] のチェックボックスを選択します。
7. [警報を鳴らす] の横にある  をタップします。
8. [警報音の長さ] と [警報の音量] のスライダーを設定します。
9. [ルールの編集] をタップするか、または [戻る] をクリックします。
10. [完了] をタップするか、または [保存] をクリックします。

注意: このルールは、警報のトリガーを追加したモードを有効にするまで、アクティブにはなりません。


アラートを管理する

モバイルデバイスに通知をプッシュしたり、アラートメールを送信したり、その両方を行ったりできます。Arloの通知を電話機で受信するには、Arloアプリを電話機にインストールする必要があります。

注意: モバイルデバイスでArloアプリからログアウトした場合、プッシュ通知の受信は停止します。

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. モードの横にある [編集]  をタップします。

注意: 待機モードでは、アラートは送信されません。



5. [アラート] で、[プッシュ通知] をタップすると、プッシュ通知のオン/オフが切り替わります。
6. [アラート] で、[アラートメール] をタップして、メール通知のオン/オフを切り替えます。
7. メールアドレスを指定するには、[アラートメール] の横にある [編集]  をタップして、メールアドレスを入力します。

カメラルールをスケジュールする



カメラを自動的に有効化/無効化するようにスケジュールを設定できます。スケジュールは週単位で繰り返されます。たとえば、火曜日のスケジュールは、スケジュールがオンになっている限り、毎週火曜日に繰り返されます。Arloは次のスケジュールが事前に設定されています。

- **月曜日から金曜日、午前8時から午後5時まで:** すべての動作センサーがオン。
- **それ以外のすべての時間:** すべての動作センサーがオフ。

スケジュールを追加する

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. [スケジュール]  をタップします。
5. [スケジュール] の横にある [編集]  をタップします。
6. [+追加] をタップします。
7. 日時を設定し、[保存] をタップします。

スケジュールを編集する

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. [スケジュール]  をタップします。
5. [スケジュール] の横にある [編集]  をタップします。
6. 緑色のボックスをタップします。
7. 開始時刻と終了時刻を変更して、[保存] をタップします。

ジオフェンスをセットアップする

ジオフェンスは、ゾーンと呼ばれる場所を囲む仮想フェンスです。Arloジオフェンスを使用すると、モバイルデバイスがゾーンに入っている場合、またはゾーンから出ている場合に、警戒モードと待機モードを切り替えたり、スケジュールモードを再開したりできます。ジオフェンスをセットアップするには、モバイルデバイスを使用して、位置情報の利用をArloアプリに許可する必要があります。

ジオフェンスの精度

精度を上げるために、ジオフェンスは、GPS、モバイルデータ通信、WiFiデータ通信を組み合わせて使用します。地域の環境は、ジオフェンスに影響を与えます。

- 都市環境 (モバイルデータ通信の電波塔やWiFiルーターの密度が高い環境) では、ジオフェンスの精度が100~200 mになることがあります。

注意: 超高層の建物に住んでいる場合、GPSが不正確になるため、ジオフェンスの信頼性が低下することがあります。その場合は、[大] の範囲を設定すると解決する場合があります。

- 地方の環境 (モバイルデータ通信の電波塔やWiFiルーターがまばらな環境) では、ジオフェンスの精度が数百メートルになることがあります。

ジオフェンス用にモバイルデバイスを準備する

1. Arloがデバイスを見つけることができるように、GPSサービスまたは位置情報サービスを有効にします。
2. WiFiを有効にします。

ジオフェンスを初めてセットアップし、さらにモードをセットアップする

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [ジオフェンス] をタップします。
5. Arloがモバイルデバイスの場所を使用できるようにします。

ジオフェンスは、Arloがモバイルデバイスを見つけることができる場合にのみ機能します。[ロケーションの住所] ページには、現在の住所が表示されます。

6. 範囲の設定を変更するには、[範囲] をタップし、範囲のサイズを選択します。

範囲のサイズは、[小]、[中]、[大] (それぞれ約150 m、250 m、500 m) です。

7. **[デバイスの場所]** をタップして、場所の名前を入力します。

8. **[退席中モード]** をタップして、モードを選択します。

モバイルデバイスがカメラの位置の範囲外にある場合、カメラは退席中モードを使用します。ほとんどの人は、**[警戒]**、**[スケジュール]**、**[カスタムモード]**を選択して、不在時もカメラが動作を検出できるようにします。

9. **[ホームモード]** をタップして、モードを選択します。

モバイルデバイスがカメラの位置の範囲内にある場合、カメラはこのモードを使用します。通常、自宅にいる場合は**[待機]**モードを選択します。

有効なモバイルデバイスが複数ある場合は、接続するArloデバイスを選択するように求められることがあります。

10. 使用するモバイルデバイスをタップして選択します。

複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する

Arloジオフェンスは複数のモバイルデバイスで動作します。

Arloは、FILO (First In Last Out) 原則を使用して、複数のユーザーがジオフェンスを使用している世帯を管理します。家に人がいないときは、ジオフェンス内に誰もいないため、ユーザーのArloカメラは警戒モードになります。1人以上の人間が家にいると (first in)、カメラは待機モードになります。1人が家を出て、別の人が帰宅した場合、最後の人が出るまでカメラは待機モードになります (last out)。

次の条件が満たされていることを確認します。


- Arloデバイスがオンラインになっている。
- ジオフェンスが有効になっている。
- 友人と家族のモバイルデバイスを追加している。

デバイスの追加については、26ページの「**スケジュールを追加する**」を参照してください。

- ジオフェンスに参加したい友人は、自身のモバイルデバイスでArloアプリにログインする必要があり、そのモバイルデバイスでGPSまたは位置情報サービスが有効になっている必要があります。

友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効にする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。

3. SmartHubをタップします。
4. [ジオフェンス]の横にある[編集]  をタップします。
5. [有効なデバイス]をタップします。

モバイルデバイスのリストが表示されます。ジオフェンスが有効な場合、デバイス名の横にチェックマークが表示されます。

6. 1つ以上のモバイルデバイスをタップします。

デバイスの場所は、[ゾーン内] または [ゾーン外] として表示されます。

7. ジオフェンスを無効にするには、モバイルデバイスをもう一度タップします。

ジオフェンスが無効になると、チェックマークが表示されなくなります。

カスタムモード

Arloに装備されたモード以外のモードを追加し、「休暇」などの新しいモードにカスタム名を付けることができます。モードごとに1つのルールを作成できます。

1つのモードの中に複数のルールを作成できます。ルールを組み合わせることで、フレキシブルなイベントとアクションに対応します。また、時間によって自動的にモードを変更するようにスケジュールすることもできます。26ページの「[カメラルールをスケジュールする](#)」を参照してください。

モードを追加する

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード]をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [モードの追加]をタップします。
5. モード名を入力します。

[トリガーデバイス] ページが表示されます。

6. 動きや音を検知するArlo Pro 2カメラを選択します。

[トリガー] ページが表示されます。

7. 動きが検知されたとき、音声を検知されたとき (またはその両方)、Arlo Pro 2カメラをトリガーする方法を選択します。

モード、ルール、スマート警告

8. 動作をトリガーとする場合は、スライダーを使用して動作検知の感度を設定します。
通常、動作検知感度を高く設定すると、カメラは頻繁に録画するようトリガーされます。
9. 音声をトリガーとする場合は、スライダーを使用して音声検知の感度を設定します。
[デバイス] ページが表示され、トリガーデバイスが選択状態になっています (トリガーデバイスは変更できます)。
10. [アクション] ページで、**[ビデオの録画]** または **[何もしない]** を選択します。
11. [録画時間の設定] ページで、Arlo Pro 2カメラが録画する時間を指定します。
12. 受信するアラートを選択します。
[アラートメール] を選択した場合は、アラートを受信するメールアドレスを入力します。
13. 設定の概要を確認し、**[保存]** をタップします。
新しいモードが保存されました。

4. 設定を変更する

Arlo Pro 2の設定をカスタマイズできます。

Arloアプリの指紋IDログインのオン/オフを切り替える

Arloアプリは、Touch ID指紋識別センサーをサポートしています。この機能を搭載したモバイルデバイスを使用している場合、ArloアプリのTouch IDログインをオンまたはオフに切り替えることができます。

➤ ArloアプリのTouch IDログインをオンまたはオフにします。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[プロフィール]をタップします。
3. [Touch IDでログイン]をタップします。

このボタンをタップすると、Touch IDによるログイン機能がオンまたはオフになります。

パスワードとユーザー名を変更する

Arloアカウントを設定すると、スマートフォンやタブレットでArloアプリを使用して、またはWebブラウザを使用してPCからArloアカウントにアクセスできます。PCを使用している場合は、ブラウザのアドレス欄に「<https://my.arlo.com/#/login>」と入力します。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[プロフィール]をタップします。
3. 新しいユーザー名とパスワードを入力します。

iOSデバイスでは、ページの上部にある[編集]をタップします。

Androidデバイスでは、各フィールドのタブをタップします。

4. [保存]をタップします。

友人にアクセス権を付与する

Arloアカウントに友人を追加できます。友人は、カメラからライブストリームを見たり、ビデオクリップを録画したり、ライブラリからのクリップを見たり、共有したり、お気に入りとしてマークしたり、削除したり、スナップショットを作成したりできます。友人には、Arloアカウントの一部の設定および機能への限定アクセスが付与されます。友人が表示できるカメラや、友人の管理権限を設定することができます。

アクセス権を持たない友人は、次のことを実行できます。

- ライブラリコンテンツの再生と表示
- ライブ表示
- ビデオのズームとドラッグ
- 明るさの調整
- 全画面表示

アクセス権を付与された友人は、次のことも実行できます。

- ビデオの再生と一時停止
- ビデオの録画
- スピーカーの消音
- モードへのアクセスと変更
- 動作検知ステータスの表示
- 手動録画
- スナップショット撮影
- ビデオのお気に入り設定、共有、ダウンロード、および削除
- カメラのマイクの使用


友人を追加する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. **[アカウント]** で、**[アクセス権の付与]** をタップします。
4. **[追加]** または **[+]** をタップします。
5. 友人の名、姓、メールアドレスを入力します。
6. 友人にアクセスさせたいArloデバイスをタップします。


設定を変更する

7. 友人にアクセス権を付与するには[**アクセス権の許可**]をタップします。
[**アクセス権の許可**]を選択すると、自分のアカウントおよびカメラ設定の変更を友人に許可することになります。
8. [**招待を送る**]をタップします。
Arloアカウントの作成を勧める招待メールメッセージが友人に送信されます。
この友人の名前が[保留]ステータスで表示されます。友人が招待を受け入れると、ステータスが[承認済み]に変わります。

友人のアクセス権を編集する

1. Arloアプリを起動します。
2. [**設定**]をタップします。
3. [アカウント]で、[**アクセス権の付与**]をタップします。
友人のリストがそれらのアカウントのステータスと一緒に表示されます。
4. 友人をタップして、[**編集**]  をタップします。
5. カメラをタップして、選択または選択解除します。
6. [**アクセス権の許可**]をタップします。
[**アクセス権の許可**]を選択すると、自分のアカウントおよびカメラ設定の変更を友人に許可することになります。
7. [**完了**]をタップします。

友人を削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. [**設定**]をタップします。
3. [アカウント]で、[**アクセス権の付与**]をタップします。
4. 友人を選択して、[**編集**]  をタップします。
5. [**友人を削除**]をタップします。
6. [**はい**]をタップします。


タイムゾーンを変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [タイムゾーン] をタップします。
5. タイムゾーンをタップします。

モバイルデバイスを使用している場合、設定は自動的に保存されます。

6. PCを使用している場合は、[保存] をクリックしてください。

カメラ設定

各カメラの設定を表示または変更できます。これを行うには、[設定]>[マイ デバイス] をタップしてカメラを選択するか、カメラフィールドの下にある [メニュー] アイコン...または [デバイス設定] アイコン  をタップします。

動作検知アクティビティゾーンを追加する


カメラビュー内で動作を検知したい動作アクティビティゾーンを追加できます。動作を検知するアクティビティゾーンを選択することもできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. カメラを選択します。
4. [録画の設定] をタップします。
5. ページ下部で、[新しいゾーンの作成] をタップします。

カメラフィールドイメージにアクティビティゾーンボックスが表示されます。

6. ボックスを目的のアクティビティゾーンに動かします。
四隅の矢印を使用してボックスのサイズを変更できます。
7. [保存] をタップします。

カメラ名を変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. カメラ名の横にある **[編集]**  をタップします。
5. 「車庫」や「玄関ドア」など、カメラの場所がわかる新しい名前を入力します。
カメラ名は、32文字までです。
6. **[保存]** をタップします。

カメラのLEDをオフにする

Arlo Pro 2カメラのLEDは、さまざまな色で点灯します。



1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. **[カメラLED]** をタップします。
5. LEDの点灯/消灯を切り替えるには、**[充電完了時にLEDを点灯]** をタップします。
モバイルデバイスを使用している場合、設定は自動的に保存されます。
6. PCを使用している場合は、**[保存]** をクリックしてください。

映像品質と電池使用率を変更する

ビデオ解像度は、**[高品質録画]**、**[最適化]**、**[最適な電池寿命]** のいずれかに設定できます。**[最適な電池寿命]** を選択すると、必要なWiFiの帯域幅が軽減されます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。

設定を変更する

3. カメラをタップします。
4. **[録画の設定]** > **[電源管理]** の順でタップします。
5. **[最適な電池寿命]**、**[最適化]**、**[高品質録画]** をタップして選択します。
6. **[確定]** をタップします。

夜間撮影のオン/オフを切り替える

夜間撮影を有効にすると、カメラは赤外線 (IR) LEDを自動的に点灯して、暗い場所での録画を開始します。Arlo Pro 2カメラが、表面が反射するもの (窓など) に向いている場合は、夜間撮影をオフにすることをお勧めします。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. **[録画の設定]** > **[低光量設定]** をタップします。
5. **[夜間撮影機能]** をタップします。

カメラのオーディオ設定を変更する

マイクのオン/オフを切り替える

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. モバイルデバイスでArloアプリを使用している場合は、**[音声の設定]** をタップします。

[音声の設定] ページが表示されます。

5. **[マイク]** をタップします。

スピーカー設定を変更する

スピーカーのオン/オフを切り替えたり、カメラの音量を制御したりできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。

設定を変更する

4. モバイルデバイスでArloアプリを使用している場合は、**[音声の設定]** をタップします。

[音声の設定] ページが表示されます。

5. スピーカーのオン/オフを切り替えるには、**[スピーカー]** をタップします。
6. スピーカー音量を変更するには、**[スピーカーの音量]** スライダーを動かします。
設定が保存されます。

ベースステーションの設定

ベースステーションの設定を表示または変更できます。

ベースステーション名を変更する

ベースステーションの名前は、Arloシステムの設定時に入力するようになっています。この名前は後で変更することができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. **[名前]** をタップします。
5. ベースステーションの新しい名前を入力します。

新しい名前がArloアプリに表示されます。

ベースステーションのちらつきの設定を調整する

特定の人工光源とカメラのシャッタースピードの組み合わせによっては、録画ビデオにちらつきが生じることがあります。ベースステーションのデフォルト設定は**[自動]** ですが、ちらつきの調整を変更できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. **[ちらつきの調整]** をタップします。
5. **[設定]** をタップします。
6. **[保存]** をタップします。

ベースステーションのデバイス情報を表示する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. **[デバイス情報]** をタップします。

ベースステーションのファームウェアレベル、ハードウェアレベル、シリアル番号が表示されます。

ベースステーションを再起動する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. **[再起動]** をタップします。

ベースステーションが再起動されます。

警報の音量を選択する

ベースステーションには、警報の機能があります。警報は手動で有効または無効にできます。また、警報を発するように動作検知ルールを設定したり、ルール設定時に警報の音量を選択したりできます。

警告：警報の音量の初期値は最大値になっており、100デシベル以上になります。ベースステーションの近くに人やペットがいる間は、警報音のテストは絶対におこなわないください。長時間の警報音により難聴を引き起こす可能性があります。

ベースステーションの警報の設定には、**[普通]**、**[大]**、**[最大]** があります。

Arloアプリを使用して警報のオン/オフを切り替える

警告：警報の音量の初期値は最大値になっており、100デシベル以上になります。ベースステーションの近くに人やペットがいる間は、警報音のテストは絶対におこなわないください。長時間の警報音により難聴を引き起こす可能性があります。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[警報を鳴らす]** をタップします。

設定を変更する

3. **[はい]** をタップして、警報を鳴らすことを確認します。

注意: 警報音の音量は、ベースステーションでアクティブになっているモードの警報音の設定により決定されます。アクティブなモードで警報のトリガールールが使用されていない場合、警報はデフォルトで最大音量設定になります。

4. 警報をオフにするには、**[警報をオフにする]** をタップします。

警報音が止まります。

ベースステーションボタンを使用して警報をオフにする

上部にボタンがあるベースステーションモデルの場合、そのボタンを使用して警報のオン/オフを切り替えることができます。



デバイス情報を確認する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. デバイスをタップします。
4. デバイス情報をタップまたはクリックして、ファームウェアバージョン、ハードウェアバージョン、およびシリアル番号を確認します。

アカウントからデバイスを削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. デバイスをタップします。
4. 下にスクロールして、**[デバイスを取り外す]** をタップします。
アカウントからデバイスが削除され、その設定が削除されます。

5. USBストレージデバイス

すべての録画はクラウドに保存されますが、USBストレージデバイスをベースステーションに接続し、USBストレージデバイスを録画の保存のバックアップ場所として使用することもできます。USBストレージデバイスを接続するだけで、ベースステーションは自動的にすべての設定を有効にします。USBストレージデバイスはクラウド録画の代わりとした単独での使用はできません。

USBストレージデバイスを接続すると、カメラは動作検知と音声検知で開始された録画 (CVRは除く) をクラウドとUSBストレージデバイスの両方に保存します。カメラとベースステーションの電源が入っていて、インターネット接続が切断された場合、カメラはUSBストレージデバイスへの録画を続けます。

USBストレージデバイスが容量不足になると、Arloアプリから通知が送信されます。カメラは、USBストレージデバイスを再フォーマットできます。43ページの「[USBストレージデバイスのフォーマット](#)」を参照してください。

USBストレージデバイスを接続する

USBストレージデバイスをベースステーションのUSBポートに接続します。



注意: USBストレージデバイスを物理的に取り外す場合は、その前に安全に切り離しておく必要があります。41ページの「[USBストレージデバイスを安全に取り外す](#)」を参照してください。

USBストレージデバイスのステータスを表示する

USBストレージデバイスが容量不足になった場合、またはUSBストレージデバイスのフォーマットに互換性がない場合、Arloアプリから通知が送信されます。Arloアプリを使用して、USBストレージデバイスのステータスを表示することもできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。

USBストレージデバイス

3. ベースステーションをタップします。
4. **[ローカルストレージ]** をタップします。

USBデバイスステータスは、USBストレージデバイスの準備ができていないか、フォーマットが必要であるか、または容量不足かどうかを示します。

USBストレージデバイスを安全に取り外す

USBストレージデバイスを取り外すときに録画が実行されないように、USBストレージデバイスを安全に切り離しておく必要があります。USBストレージデバイスを使用中に取り外すと、そのデバイスが完全に無効になることがあります。USBストレージデバイス内のファイルは破損する可能性があります。

ベースステーションにひとつだけUSBストレージデバイスを取り付けていた場合、それを取り外すと別のUSBストレージデバイスを取り付けるまでUSB録画は無効になります。USBストレージデバイスを取り外すときに、まだ別のUSBストレージデバイスが取り付けられていた場合、USB録画は別のUSBストレージデバイスに対して自動で有効になります。

➤ **USBストレージデバイスを安全に切り離して取り外します。**

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. **[ローカルストレージ]** をタップします。

[ローカルストレージ] ページが表示されます。接続したUSBストレージデバイスには、ベースステーションのUSBポートと一致するように番号が割り当てられます。どちらを取り外すべきかわからない場合は、USBストレージデバイスが差し込まれているベースステーションのUSBポートの番号を確認してください。

5. 取り外したいUSBストレージデバイスをタップします。
6. **[USBストレージデバイスを安全に取り外す]** をタップします。
7. USBストレージデバイスの取り外し中のメッセージが閉じるのを確認してから、USBストレージデバイスをベースステーションから取り外します。

ページの設定がグレー表示になり、USBストレージデバイスが切り離されたことがわかります。カメラはUSBストレージデバイスへの録画を停止します。これでUSBストレージデバイスは安全に取り外すことができます。

USBストレージデバイスにあるビデオクリップを見る

Arloアプリには、USBストレージデバイス内のビデオクリップは表示されませんが、Windows PCまたはMacを使用してこれらのクリップを見ることができます。

1. USBストレージデバイスを安全に切り離します。

詳細については、41ページの「[USBストレージデバイスを安全に取り外す](#)」を参照してください。

2. 取り外したUSBストレージデバイスをWindows PCまたはMacに接続します。
3. PCの画面で、使用可能なドライブのリストにUSBストレージデバイスが表示されたら、ドライブのフォルダーを開いて、USBストレージデバイス内のファイルを表示します。
4. Arloフォルダーを開きます。

録画したビデオはMP4形式で、次の名前で保存されています: カメラのシリアル番号_映像番号_日付_ビデオクリップタグ。日付の形式はYYYYMMDD(年月日)です。

注意：お使いのPCでMP4形式ファイルが再生できない場合、メディアプレーヤーを最新バージョンにアップデートしてからやり直してみてください。標準的なマルチメディアプレーヤーのVLCでも再生することができます。

USBストレージデバイスの上書き設定を変更する

デフォルトの場合、使用可能なUSBストレージの容量が20%未満になると、最も古い録画が消去され、新しい録画のための容量が確保されます。この設定は後で変更できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定] > [マイ デバイス] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. [ローカルストレージ] をタップします。
5. [自動的に上書き] をタップします。

USBストレージデバイスのフォーマット

USBストレージデバイスのフォーマットが必要な場合、Arloアプリに通知メッセージがポップアップ表示されます。ベースステーションでUSBストレージデバイスをフォーマットできます。

警告: ベースステーションを使用して、ストレージ容量が2 TBを超えるストレージデバイスをフォーマットしないでください。ベースステーションでは、FAT32ファイルシステムを使用してストレージデバイスをフォーマットします。FAT32は、最大2 TBまでのストレージに対応しています。上限を超えるストレージデバイスの容量は、フォーマットプロセスで2 TBに減少します。

1. USBストレージデバイス上のファイルを保存しておきたい場合は、USBストレージデバイスをフォーマットする前に、別の場所にファイルを保存またはコピーします。

USBストレージデバイスをフォーマットすると、デバイス上のファイルは削除されます。

2. USBストレージデバイスをベースステーションのUSBポートに接続します。

詳細については、40ページの「[USBストレージデバイスを接続する](#)」を参照してください。

3. Arloアプリを起動します。
4. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
5. ベースステーションをタップします。
6. **[ローカルストレージ]** をタップします。

「フォーマットが必要」メッセージが表示された場合、USBストレージデバイスのフォーマット (FAT32) が正しくないため、ローカルストレージで使用する前にフォーマットする必要があります。

7. フォーマットするUSBストレージデバイスの横の **[>]** をタップします。
8. **[USBデバイスのフォーマット]** をタップします。
9. USBデバイスのステータスが **[フォーマット中]** から **[使用可能]** に変わるまで待ちます。

警告: フォーマット中にUSBストレージデバイスを取り外さないでください。USBストレージデバイスが永久に使用できなくなる可能性があります。

USBストレージデバイスでの録画をオンにする

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. [ローカルストレージ] をタップします。
5. USBストレージデバイスを選択します。
6. USBストレージデバイスの横に「フォーマットが必要」メッセージが表示された場合、フォーマットの手順に従います。

フォーマットについては、43ページの「[USBストレージデバイスのフォーマット](#)」を参照してください。


7. [USBデバイス録画] をタップします。

USBデバイス録画のオンとオフが切り替わります。

USBストレージデバイスでの録画を停止する

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. ベースステーションをタップします。
4. [ローカルストレージ] をタップします。
5. USBストレージデバイスへの録画を停止するには、[USBデバイス録画] の横にあるスライダーを動かします。


6. 24時間連続録画

24時間連続録画 (CVR) は、Arlo Pro 2カメラで利用できるオプション機能です。Arlo Pro 2カメラを接続すると、CVRは指定されたルールに基づいて録画します。カメラフィードの上にある  をタップまたはクリックすると、任意の時刻から録画された内容を見たり、見逃した内容を確認したりできます。

Arlo Pro 2カメラは、CVRで録画するだけでなく、ルールに基づいてカメラが作成した録画を保存することもできます。CVRプランを使用するには、Arlo Pro 2カメラをUSB電源アダプターに接続する必要があります。カメラとの接続が切断された場合は、カメラをもう一度接続した時点でCVRが再び作動し始めます。

注意: CVRプランを使用するには、Arlo Pro 2カメラをUSB電源アダプターに接続する必要があります。

タイムラインを表示する


1. Arlo Pro 2カメラがUSB電源アダプターに接続されていることを確認します。
2. Arloアプリを起動します。
3. カメラフィードの上にある  をタップします。

[タイムライン] ページが表示されます。

緑色の線は動作検知、青色の線は音声検知により録画された時間を示します。

4. [デバイス] ページに戻るには、**[戻る]** をタップします。

タイムライン上を移動する

1. Arlo Pro 2カメラがUSB電源アダプターに接続されていることを確認します。
2. Arloアプリを起動します。
3. カメラフィードの上にある  をタップします。

[タイムライン] ページが表示されます。

4. タイムラインをタップしたままにします。
5. モバイルデバイスの場合は、タイムラインをドラッグします。
 - 過去のビデオを見るには、タイムラインを左にドラッグします (CVRプランに応じて、14日または30日戻れます)。

24時間連続録画


- 最近の録画に移動するには、タイムラインを右にドラッグします。

注意: PCでブラウザーを使用している場合は、クリックして特定の時刻に移動するか、クリックしたままドラッグしてタイムラインをスクロールします。

6. ライブフィードに戻るには、ページの下部にある **[Go Live]** をタップします。

タイムラインカレンダーを表示する

CVR録画中でも、動作または音声の検知イベントによる録画は行われます。これらの情報をタイムラインに表示するには、カメラが警戒モードなどのモードを使用している必要があります。モードについては、23ページの「**動作検知の感度を変更する**」を参照してください。

1. Arlo Pro 2カメラがUSB電源アダプターに接続されていることを確認します。
2. Arloアプリを起動します。
3. カメラフィールドの上にある  をタップします。
4. **[カレンダー]** をタップします。

[カレンダー] ページには、一連の日付が表示されます。小さい緑色のドットは、CVRで録画した日を表します。大きい緑色のドットは、現在の日付を表します。

5. タイムラインの詳細ビューを表示するには、次の手順を実行します。
 - スマートフォンなどのモバイルデバイスで、ピンチしてズームします。横長モードにするには、デバイスを回転するか、**[拡大]** をタップします。
 - ブラウザーを使用している場合は、**[24時間]**、**[1時間]**、または **[5分]** をクリックしてタイムラインの詳細を変更します。
6. タイムラインの表示/非表示を切り替えるには、**[タイムライン]** をタップします。タイムラインの表示のオン/オフが切り替わります。

7. Arlo Connect

Arlo Connectは、標準的で安全なクラウド統合を使用して、Arloデバイスをほかのスマートホームプラットフォームに統合する簡単な方法です。

IFTTTでArloを使用する

スマートホームデバイスとアプリケーションを接続する無料のクラウドベースサービスであるIFTTT (If This Then That) でArloアプリを使用できます。

IFTTTアプリにArloを追加するには、ifttt.com/arloのページを参照してください。

ArloとIFTTTの詳細は、arlo.com/communityのページを参照してください。

AlexaおよびArlo Alexa SkillでArloを使用する

AlexaおよびArlo Alexa Skillを使用すると、音声コマンドでArloカメラにアクセスできます。Arlo Alexa Skillを使っている場合、Alexaに語りかけて、カメラ (いずれか1台) で撮影しているライブフィードをEcho ShowやFire TVで表示することができます。これらの機能を最大限に活用するには、接続された対応のArloカメラと、次のいずれかのAmazonデバイスが必要です。

- Echo Show
- Fire TV (全世代)
- Fire TV Stick (第2世代のみ)
- Fire TV EditionスマートTV

以下のArloカメラは、Arlo Alexa Skillと互換性があります。

- Arlo 100%ワイヤレスカメラ (モデルVMC3030, VMS3x30)
- Arlo Q (モデルVMC3040)
- Arlo Q Plus (モデルVMC3040S)
- Arlo Pro (モデルVMC4030, VMS4x30)
- Arlo Pro 2 (モデルVMC4030P, VMS4x30P)
- Arlo Go (モデルVML4030)
- Arlo Baby (モデルABC1000)

ArloとAlexaの詳細は、arlo.com/communityのページを参照してください。

8. FAQとトラブルシューティング

電池に関するFAQ

Arlo Pro 2カメラバッテリーを充電するにはどうしたらいいですか？

Arlo Proのバッテリーは工場出荷時に使用できる状態になっています。USB電源アダプターを使用し、カメラをコンセントに接続してバッテリーを充電できます。また、Arlo Pro充電ステーション (別売) を使用してバッテリーを充電することもできます。

予備のバッテリーと充電スタンドを購入できます。これらを購入すると、バッテリーを充電している間、予備のバッテリーをArlo Pro 2カメラに搭載して給電できます。充電ステーションは、2個のバッテリーを同時に装着し、順番に充電できます。

寒冷地でArloカメラを使用する場合、何に注意する必要がありますか？

電池の化学的な特性により、低温は電池残量に影響を与える可能性があります。このため、Arloカメラを寒い屋外に設置すると、カメラのバッテリーの持続時間が短くなったり、表示されるバッテリーの容量が思ったよりも早く減ることがあります。

あるArloカメラの電池が、他のArloカメラの電池よりも早く消耗するのはなぜですか？

Arloカメラは、さまざまな環境下でご使用いただけます。環境によっては、電池の寿命に影響する場合があります。また、Arloカメラを設置する場所によって、バッテリーの消耗度が他の場所よりも高いことがあります。次に例を示します。

- Arloカメラは、赤外線センサーを使用して、暗い場所で適切に動作を監視します。赤外線センサーが使用されると、照明の明るい部屋で動作を監視しているカメラよりも電池を多く消費します。
- Arloカメラは、ベースステーションから最大90m離れていても機能しますが、ベースステーションから遠くに設置されたカメラは、ベースステーションの近くに設置されたカメラよりも電池を多く消費します。
- Arloカメラでは、録画するビデオの品質レベルを選択できます。高画質のビデオを録画するように設定されたカメラは、低画質のビデオを録画するように設定されたカメラよりも電池を多く消費します。

WiFi環境はArloの電池に影響を与えますか。

はい。混雑しているWiFi環境では、Arloカメラの電池が早く消耗する可能性があります。WiFi環境の混雑を調べるには、WiFiアナライザーを使用します。

Arlo Pro充電式バッテリーはフル充電でどれくらい使用できますか？

Arlo Proカメラの充電式バッテリーの場合、通常の使用で寿命は4~6か月ですが、設定を最適化するとさらに長く使用できることもあります。Arlo Proカメラでは、動作を検知した場合にのみ録画するよう設定すると、長く使用できます。

Arlo Pro充電式バッテリーは、どのくらいの時間で充電できますか？

Arlo Pro充電式バッテリーをカメラに挿入して残量0の状態からフル充電した場合は、約2.5時間かかります。Arlo Pro充電用ステーションにArlo Pro充電式バッテリーを1つ挿入した場合は、充電に約2.74時間かかります。Arlo Pro充電用ステーションにArlo Pro充電式バッテリーを2つ挿入した場合は、充電に約5.43時間かかります。

Arlo Proカメラの使用期間を延ばすにはどうしたらよいですか？

バッテリーの寿命を延ばすために、以下を参考にしてください:

- カメラの映像品質とバッテリー使用率の設定を確認します。電池の寿命を延ばすには、**[最適な電池寿命]**の設定を選択します。この設定では映像品質を落とし、電池寿命を延ばします。映像品質とバッテリー使用率を変更する方法については、35ページの「[映像品質と電池使用率を変更する](#)」を参照してください。
- 通常の使い方とは、Arlo Pro 100%ワイヤレスカメラを**[最適化]**に設定し、視聴または録画を1日あたり4分行うことを指します。
- 使い方によっては、結果が異なることがあります。ベースステーションからカメラまでの距離によっても、電池寿命が変化する点についても注意が必要です。

ストリーミングの帯域幅を管理する

カメラの映像品質とバッテリー使用率の設定に応じて、ビットレートとアップストリーム帯域幅の要件が調整されます。フレームレートは、夜間撮影モードかどうかによって異なります。各設定のデフォルト動作は次のとおりです。電源管理の設定によって、初めのビットレートとフレームレートが決まっています。

日中撮影モード

- **高品質録画:** 24 fpsで600 kbps
- **最適化:** 24 fpsで300 kbps
- **最適な電池寿命:** 24 fpsで200 kbps

夜間撮影モード

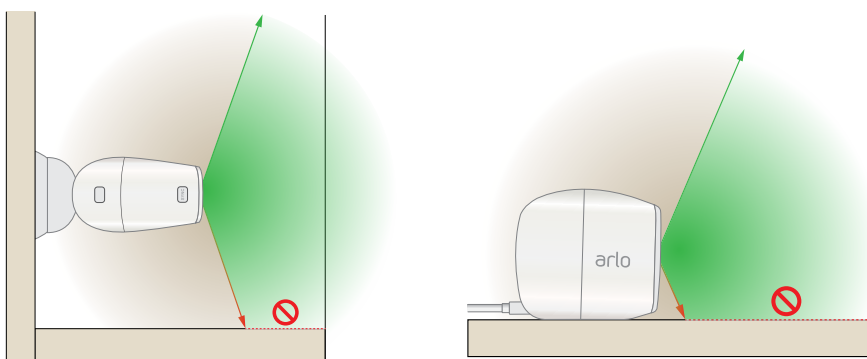
- **高品質録画:** 15 fpsで600 kbps
- **最適化:** 15 fpsで300 kbps
- **最適な電池寿命:** 15 fpsで200 kbps

使用可能な帯域幅とバッファの使用率に応じてビットレートが上げられるか、ビットレートとフレームレートが下げられます。

カメラの映像品質とバッテリー使用率の設定については、35ページの「映像品質と電池使用率を変更する」を参照してください。

夜間にカメラで発生するグレア

グレアは、何らかの物体がカメラの視野を遮っている場合に発生します。カメラの側面または前面の6.4 cm以内に物体、壁、テーブルなどがある場合、その物体が赤外線 (IR) の光をカメラレンズに反射する可能性があります。この状況では、特に夜間の場合は、映像内にグレアまたはかすみが生じることがあります。夜間の映像にグレアとかすみを引き起こす可能性がある不適切な配置例を次の図に示します。



カメラでスキン (別売) を使用しており、カメラスキンの端が遠くに突き出ている場合、IRがカメラレンズに反射され、グレアが発生する可能性があります。ブラックフード付きのArlo Proカメラスキン (VMA4200B) の場合、グレアが発生する可能性が高くなります。

➤ Arlo Pro 2でグレアをトラブルシューティングします。

1. カメラのすぐ近くに壁、テーブル、そのほかの物体がないことを確認します。
2. カメラスキンを使用している場合は、カメラスキンがカメラの周りに密着していること、カメラの前面にスキンの端が突き出していないことを確認します。

グレアがまだ解消されない場合は、カメラスキンを取り外します。

アクティビティゾーンとCVRが機能しない

Arlo Pro 2の機能は、カメラがUSB電源アダプターに接続されている場合にのみ使用できます。

- アクティビティゾーン
- CVR

- プレ録画

注意: バッテリー充電のためにArlo Pro 2カメラをArloソーラーパネル (別売) に接続した場合、このパネルはAC電源として使用できません。アクティビティゾーンとCVRを使用するには、Arlo Pro 2カメラをコンセントに接続する必要があります。

カメラが接続されていない状況でも、アクティビティゾーンとCVRの設定は維持されます。カメラを再び接続したときに、CVRまたはアクティビティゾーンを再度設定する必要はありません。

カメラが接続されていない場合は、CVRまたはアクティビティゾーンを設定できません。

ブラウザでビデオストリームを見ることができない

Arlo Webクライアントは、Adobe Flashプラグインを使用してブラウザにビデオストリームを表示します。ブラウザがプラグインをブロックしていないこと、および最新バージョンのAdobe Flashを使用していることを確認してください。

Arloがデータを送信するポートをルーターがブロックしている場合があります。Arloの接続を確実に維持するには、ルーターのポート443および80が常に開いている必要があります。

ビデオストリームの問題をトラブルシューティングするには、次のセクションの条件を確認してください。

WiFi信号の干渉

複数のWiFiネットワーク、WiFiデバイス、または周波数がある環境では、Arloシステムに信号の干渉が生じやすくなります。周辺で無線LANを使用するWiFiデバイスを減らし、不要な無線LANデバイスは無線の機能をオフにします。

また、カメラはベースステーションから30~100 cm以上離し、カメラ同士は2 m以上離して設置してください。このガイドラインを守ることで、デバイス間の無線LAN信号が相互に干渉することを避けられます。

範囲外

100%ワイヤレスカメラがベースステーションから90 m以内にあることを確認してください。屋内に設置する場合は、カメラとベースステーションの間に金属製のものや厚い壁、天井があると使用可能な距離が短くなることがあります。

カメラを設置する予定のエリアで、カメラの信号強度表示が3~4本になっていることを確認してください。信号強度表示が1~2本でも動作しますが、頻繁に電波が届かなくなる可能性があります。

残量低下

Arlo Pro 2カメラのバッテリーを充電または交換して、バッテリーの残量レベルが2本以上であることを確認します。電池残量が少ないと、ビデオのストリームが途切れることがあります。

プッシュ通知を受け取れない


モバイルデバイスでArloのアラートを受信するには、Arloアプリにログインしている必要があります。ログインすると、デバイスがプッシュ通知の対象として登録されます。アプリを終了せずにArloアプリからログアウトした場合は、アプリにログインし直す必要があります。Arloの通知は、モバイルデバイスがスリープ中でも着信します。

次のセクションの手順をすべて完了してもArloアラートを受け取れない場合は、Arloテクニカルサポートにお問い合わせください。

[警戒] モードのルール設定を確認する

モード内のルールを確認します。[警戒] モードまたはカスタムモード (作成した場合) の [プッシュ通知] が有効になっていることを確認してください。

➤ [警戒] モードのプッシュ通知を確認します。

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップまたはクリックします。
3. ベースステーションを選択します。
4. モードの横にある [編集]  をタップまたはクリックします。
[モード編集] ページが表示されます。
5. [アラート] で、[プッシュ通知] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. 変更した場合は、[保存] をタップまたはクリックします。
設定が保存されます。

iOSデバイスのArloアプリ設定を確認する

Arloアプリがプッシュ通知を受け取ることを許可していることを確認します。iOSまたはAndroidデバイスで、Arloアプリプッシュ通知が無効になっていることがあります。

➤ **iOSデバイスのArloプッシュ通知を許可します。**

1. iOSデバイスの **[設定]** アイコンをタップします。
2. **[通知]** > **[Arlo]** をタップします。
Arlo通知設定が表示されます。
3. **[通知を許可]** が選択されていることを確認します。
4. 変更した場合は、**[保存]** をタップします。
設定が保存されます。

AndroidデバイスのArloアプリ設定を確認する

Arloアプリがプッシュ通知を受け取ることを許可していることを確認します。iOSまたはAndroidデバイスで、Arloアプリプッシュ通知が無効になっていることがあります。

➤ **AndroidデバイスのArloプッシュ通知を許可します。**

1. Androidデバイスの **[設定]** アイコンをタップします。
2. **[アプリケーションマネージャー]** > **[Arlo]** をタップします。
Arlo通知設定が表示されます。
3. **[通知を表示]** 設定がオンになっていることを確認します。
4. 変更した場合は、**[保存]** をタップします。
設定が保存されます。

インストール時にプッシュ通知を許可しなかった場合

アラートを受け取るには、Arloアプリの初回インストール時に、Arloからプッシュ通知を送信するかどうかを選択するメッセージが表示されたときに、**[許可]** を選択する必要があります。iOSアプリの場合、このアラートに応答した後に、デバイスが復元されるか、アプリがアンインストールされて1日以上経過しない限り、アラートは再び表示されません。

iOSデバイスで許可しなかった場合は、アプリをアンインストールし、1日待ってから、再インストールして、通知を許可してください。アプリを再インストールするまで1日待ちたくない場合は、デバイスのシステムクロックを使って1日をシミュレートできます。システムクロックを1日以上進めるように設定し、デバイスの電源をオフにしてから、オンに戻してください。アプリを再インストールした後は、システムクロックを正しい設定に戻してください。

Arloベースステーションがオンラインであることを確認する

Arloベースステーションには、前面にベースステーションのステータスを示すLEDが1つあるモデルと3つあるモデルがあります。LEDの色を確認します。13ページの「[ベースステーションLEDガイド](#)」を参照してください。

Arloベースステーションの設置場所にいない場合は、Arloアカウントにログインしてください。

- 各カメラからビデオフィードが参照できれば、ベースステーションはインターネットに接続されています。
- ビデオフィードが表示されず、「ベースステーションのオフライン」などのエラーメッセージが出る場合は、ベースステーションがインターネットに接続されていません。

ベースステーションがオフラインになっている

ベースステーションがオフラインかどうか不明な場合は、前のセクションを参照してください。

1. LANケーブルをチェックします。

LANケーブルがベースステーションの背面とルーターにしっかりと接続されていることを確認します。また同梱のLANケーブルを使用していることも確認してください。

2. 電源アダプターをチェックします。

電源アダプターがベースステーションの背面にしっかりと接続され、コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認します。

3. ルーターに直接接続されている別のデバイスからインターネットに接続してみてください。

イーサネットケーブルを使用してルーターに接続されているデバイスからインターネットを閲覧してみます (デバイスでWiFiをオフにすると、デバイスが確実にLANケーブル経由で接続されます)。

- デバイスからインターネット接続できない場合、ルーターからのインターネット接続を回復させる必要があります。
- もしインターネット接続できる場合は、続けてトラブルシューティングを継続します。

4. ベースステーションの電源を入れ直します。

コンセントから電源アダプターのプラグを抜き、1分待ってから電源アダプターをコンセントに再び接続します。ベースステーションが起動するまで1~2分ほどかかります。電源とインターネットLEDが緑色に点灯する場合、ベースステーションはインターネットに接続されています。インターネットLEDがオレンジ色の場合、トラブルシューティングを続けます。

5. ルーターのDHCP設定とクライアントリストを確認します。

DHCPが有効になっており、そのルーターのDCHPクライアントリストでベースステーションにIPアドレスが割り当てられていることを確認します(割り当てられている場合、クライアントリストにベースステーションが表示されます)。詳細は、ルーターのマニュアルを参照してください。

6. 以前はベースステーションをインターネットに接続することができていたのに、接続できなくなった場合は、ルーターのセキュリティ設定とファームウェアを確認して、最後に正常に接続できたときから変更が行われていないことを確認します。

ルーターのセキュリティレベルを一時的に下げたり、ベースステーションを一時的にDMZ内に置いて、ファイアウォールの制限を排除するという方法もあります。これらの変更を行った場合は、手順4の説明にしたがって、ベースステーションの電源を入れ直します。

7. ルーターでポート443と80が開放されていることを確認します。

ご自分でインターネット環境を管理されていない場合、ファイアウォールやルーターの設定についてはIT部門に問い合わせてください。Arloベースステーションは、ほとんどのプロキシサーバーを経由した接続に対応していません。プロキシサーバーをバイパスする方法については、ITチームおよびインターネットサービスプロバイダー (ISP) に相談してください。ポート443と80を確実に開くよう、ITチームに依頼します。

8. ベースステーションを工場出荷時の状態にリセットします。

詳細については、57ページの「[Arloベースステーションを工場出荷時の設定にリセットする](#)」を参照してください。

それでもベースステーションをインターネットに接続できない場合は、サポートセンター (<https://www.arlo.com/jp/support/>) へお問い合わせください。

- ベースステーションのシリアル番号
- ユーザー名 (Arloアカウントで登録したメールアドレス)

- インターネットサービスプロバイダー (ISP) の名前
- インターネット接続タイプ (DSL / Cable など) とスピード (Arloでは最低で上り 1 Mbps以上の速度が必要)
- インターネット接続のルーターモデル名
- ルーターに接続しているその他のデバイスのリスト
- ベースステーションがインターネットに接続できていた日時 (過去に接続できていた場合)

信号強度

Arlo Pro 2カメラからベースステーションへの信号が弱い場合、動作が検知されても、録画に遅延が発生することがあります。

カメラの信号強度が十分であるかどうかをテストするには、ベースステーションのカメラLEDを確認します。オレンジ色で点滅している場合、ベースステーションはデータレートが低いと認識しています。これは、カメラがベースステーションから遠すぎることを表しています。

信号強度を高めるためには以下の方法を参考にしてください。

- ベースステーションはすべてのカメラの中心部分に設置してください。
- ベースステーションから90 m以内の場所にカメラを設置してください。

最大距離はその間に存在する壁や天井、または金属製のドアなどの障害物によって短くなります。次のような素材は信号強度を低下させます。

- 厚い壁や天井
- レンガ
- コンクリート
- 岩
- セラミック
- ガラス、鏡
- 金属
- 大量の水(水槽や貯水タンクなど)
- コードレス電話、赤ちゃんの見守り機器、電子レンジなどのデバイスから離れた位置にカメラを設置してください。
- 複数の無線LANルーターの近くにArloを置かないでください。他の無線LAN対応デバイスが、Arloの無線信号に干渉することがあります。

Arloベースステーションを工場出荷時の設定にリセットする

工場出荷時設定にリセットすると、ベースステーションの値がデフォルト設定に戻り、Arloアカウントからベースステーションが削除されます。

1. ベースステーションをリセットするには、ペーパークリップをまっすぐに伸ばしたものなどを使用して、ベースステーションの背面にある**リセット**ボタンを約10秒間長押しします。

ベースステーションがリセットされます。リセット中のLEDの動作は、ベースステーションのモデルによって異なります。

- **前面にLEDが1つのベースステーション:** LEDが青とオレンジで交互に点滅します。
- **前面にLEDが3つのベースステーション:** LEDがオレンジで点滅します。

ベースステーションが再起動されます。

2. ベースステーションが再起動するまで待つてから、電源を抜いたり、オフにしたり、Arloアプリを使用してセットアップしたりします。

注意: Arloアカウントにベースステーションを追加して設定するには、Arloアプリを開いて、**[新しいデバイスの追加]** をタップします。場合によっては、カメラをベースステーションに再度追加する必要があります。

9. 充電式バッテリーの安全性

Arlo Pro充電式バッテリーを安全にお使いいただくためのルール

Arlo Proの100%ワイヤレスHDセキュリティカメラは、充電式バッテリーを採用しており、使用する場所を選びません。しかし、あらゆるバッテリーは、分解、切断したり、穴を開ける、つぶす、ショートさせる、焼却する、水、火、高温にさらすなどすると、爆発、発火して、火傷の原因となる可能性があるため、取り扱いには注意が必要です。

Arlo Pro充電式バッテリーを安全に使用するには、次のガイドラインに従ってください。

- 予備のバッテリーは、涼しく乾燥した風通しのよい場所で保管してください。
- 新しいバッテリーを装着する前に、バッテリー収納部に汚れやごみが付着していないことを必ず確認してください。
- 正しく装着されていることを必ず確認してください。
- バッテリーはお子様の手の届かないところで保管してください。
- 使用済みのバッテリーは、お住まいの地域の廃棄、リサイクルに関する法律に従って処分してください。
- Arlo Pro充電式バッテリーの充電には、必ずArlo Pro充電アダプターまたはArlo Pro充電ステーション (別売) をご使用ください。
- Arlo Pro充電式バッテリーをポケットに入れたり、財布などの入れ物に収納したりしないでください。特に金属類とは一緒にしないでください。
- Arlo Pro充電式バッテリーを危険物や可燃物と一緒に保管しないでください。
- Arlo Pro充電式バッテリーまたはバッテリー収納部は、バッテリーの装着前、装着中、装着後を問わず、絶対に濡らさないでください(カメラ本体は防水仕様ですが、内部のバッテリー収納部とバッテリーは防水仕様ではありません)。
- Arlo Pro充電式バッテリーは、分解、切断したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。また、ショートさせたり、火または水の中に投げたり、60°Cを超える高温にさらしたりしないでください。

Arlo Pro充電用ステーションを安全にお使いいただくためのルール

Arlo Pro充電ステーションは別売りです。充電ステーションを使用して、1個または2個のArlo Pro充電式バッテリーを充電できます。Arlo Pro充電ステーションの詳細については、Arlo Pro充電ステーションパッケージに同梱されている説明書を参照してください。

Arlo Pro充電ステーションを使用する場合は、感電や火災の危険を含め、あらゆる人身傷害や物的損害を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- Arlo Pro充電ステーションと互換性のあるArlo Pro充電式バッテリーのみを充電してください。ほかのバッテリーを充電すると、液漏れ、破裂、爆発の原因になることがあります。
- 充電用ステーションは、乾燥した場所でのみ使用できます。雨、雪、過度な湿気を避けてください。
- 充電用ステーションの本体またはコードが損傷している場合は、操作しないでください。
- 分解したり改造したりしないでください。また、電源として使用しないでください。
- バッテリーは分解したり、火中に投げたり、逆向きに取りついたりしないでください。また、使用済みバッテリーやほかの種類バッテリーと混ぜて使用することは避け、ショートさせないようにしてください。これらの行為は、バッテリーの発火、爆発、液漏れ、過熱につながり、ケガの原因となることがあります。